

就労継続支援 A 型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4 0 1 6 5 0 0 4 1 7									
事業所名称	ウェルフェアプラス二島									
事業の種別	●	就労継続支援 A 型	指定年月日	平成 2 9	年	10	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無		有		無	公表年月日	令和7	年	4	月	11	日
公表方法 (該当するものに●)		ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
		URL	https://central-co.jp/division/douhoku/								
		その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法									

3 基本報酬算定区分

(Ⅰ) 労働時間	55	点
(Ⅱ) 生産活動	50	点
(Ⅲ) 多様な働き方	15	点
(Ⅳ) 支援力向上のための取組	5	点
(Ⅴ) 地域連携活動	10	点
(Ⅵ) 経営改善計画	0	点
(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計
145 点
／ 200 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 から 4 2 - 4 までの各様式を使用してください。
- ・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 3 の様式を使用してください。
- ・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添 4 2 - 4 を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名	ウェルフェアプラス二島
住 所	北九州市若松区高須南2丁目1番13号
電話番号	093-701-5024

事業所番号	4016500417
管理者名	齊藤 かおり
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		50点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

(Ⅲ) 多様な働き方 (※)		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)		5点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)		4点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点
1事例以上ある場合:10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点
期限内に提出していない場合:-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
145点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	6,733	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,355	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.9	時間
-----------------------------	-------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	5,224,351	円	利用者に支払った賃金総額	10,259,776	円	収支	▲5,035,425	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	4,787,119	円	利用者に支払った賃金総額	4,786,109	円	収支	1,010	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	-------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	6,510,925	円	利用者に支払った賃金総額	6,510,925	円	収支	0	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	---	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
第69条（教育研修）	

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
第14条（労働契約の転換）	

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
第3章 労働時間・休憩・休日・休暇	

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
計画的付与 取得日数 5日	

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
第20条（休職）	

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 受給者証・各種手帳の理解	
研修講師 久保 由美	
実施日・受講者数 9月 28日 5人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	
実施日 月 日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名 株式会社ネクストイノベーション	
実施日/参加者数 12月 11日 3人	
※他の事業所名	
実施日/参加者数 6月 21日 2人	
ダブルアップ	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 農業祭	
主催者名 JA	
日時 12月 1日	
内容 にんにく味噌、野菜の展示販売	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年4月1日	
人事評価制度の対象職員数 5名	
うち昇給・昇格を行った者 4名	
当該人事評価制度の周知方法 労働条件通知書交付時の面談にて	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～ 月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日 年 月 日	

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ウェルフェアプラス二島	事業所番号	4016500417
住 所	北九州市若松区高須南2丁目1番13号	管理者名	齊藤 かおり
電話番号	0 9 3 - 7 0 1 - 5 0 2 4	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所 田中農園 実施日程 令和 6 年 7 月～9 月 実施した生産活動・施設外就労の概要 ブルーベリーの収穫・キャベツの水やり 利用者数 等 3 名	<活動の様子> 活動の様子の写真 ブルーベリー収穫 7 月～8 月   キャベツの水やり 9 月 1 回 2 時間の作業 
<目的> 地域連携活動のねらい 実際の現場での作業と地域の方との交流 地域にとってのメリット 人手不足の解消 対象者にとってのメリット 作業意欲の向上 技術の習得	
<成果> 実施した結果 仕事に対する達成感を得ることが出来た 得られた成果 次回の作業の確保 課題点 作業時間の変動	

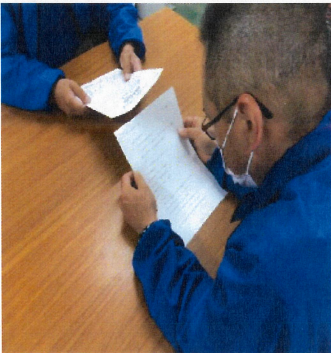
連携先の企業等の意見または評価			
夏の作業なので、体調管理をしながら大変だったと思います。 作業もブルーベリーの収穫という細かな作業でしたが 丁寧にして頂きありがとうございました。 今後もスポット的にはなりますが、お手伝いをして頂けると 大変助かります。			
連携先企業名	田中農園	担当者名	田中

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ウェルフェアプラス二島
住 所	北九州市若松区高須南二丁目 1 番 1 3 号
電話番号	0 9 3 - 7 0 1 - 5 0 2 4

事業所番号	4016500417
管理者名	齊藤 かおり
対象年度	令和 6 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 ウェルフェアプラス二島 事業所内 実施日程 令和6年11月9日（土）10時～12時 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 社会人としてのルール・マナーについて 利用者数 等 6名	<活動の様子>   
<目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい より良い人間関係や自分の存在、意見を効果的に伝え、社会的な信頼を高める 利用者にとってのメリット 外部作業の際の向き合う姿勢や態度を学ぶ	
<成果> 実施した結果 日ごろの反省や今後の取り組みに前向きな発言が多くみられた。 得られた成果 清掃作業での作業態度に変化がみられた。 課題点 グループ討議などの、発言する場を増やす	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

基本的なマナーを学び、後半にはマナー検定試験（プレテスト）を行うことで、利用者の方々の理解度を確かめることができたことが良かった。 また、途中でストレッチや体操を入れたことで、最後まで集中して取り組むことができたと感じている。 今後は利用者の方々が発言できる勉強会の開催を検討している。	
連携先企業（担当者）	工藤

利用者からの意見・評価

みんなで助け合いながら作業することで、スムーズに作業ができるような気がした。動画を見ながらのストレッチやタオルを使った体操では、体が伸びる感じがしてスッキリすることができた。
--